

# 厚生文教委員会報告書

令和7年5月21日

備前市議会議長 西 上 徳 一 殿

委員長 中 西 裕 康

令和7年5月21日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

## 記

案 件	調査結果	備 考
1 環境衛生についての調査研究 ① 備前市におけるマイクロプラスチック削減の取組みについて ② 備前斎場について	継続調査	委員派遣
2 病院事業についての調査研究 ① 介護老人保健施設 備前さつき苑について	継続調査	委員派遣
3 教育行政についての調査研究 ① A L Tの職場での対応について	継続調査	—

## <報告事項>

- 戸籍への振り仮名の記載について（市民課）
- 乾電池の処理について（リチウム電池等）（環境課）
- 体育館移動式空調機購入事業について（教育総務課）
- 修学旅行の日程について（学校教育課）
- 今後の国際バカロレア教育について（国際教育課）
- 放課後子ども教室について（放課後子ども教育課）
- 旧伊部保育園の活用について（教育委員会）

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
報告事項	2
閉会中の継続調査事件	15
1. 環境衛生について（委員派遣）	15
2. 病院事業について（委員派遣）	18
3. 教育行政について	19
閉会	23

## 厚生文教委員会記録

招集日時	令和7年5月21日（水）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会 ～	午前11時06分	閉会
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出席委員	委員長	中西裕康	副委員長	青山孝樹
	委員	土器 豊		守井秀龍
		立川 茂		藪内 靖
		奥道光人		草加忠弘
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等		なし		
傍聴者	議員	なし		
	報道関係	あり		
	一般傍聴	なし		
説明員	市民生活部長	畑下昌代	市民課長 兼選挙管理委員会事務局長	江見清人
	環境課長	岡村 巧		
	総合教育部長	久保山仁也	総合教育部次長	春森弘晃
	教育総務課長	行正英仁	教育政策課長	則枝勇人
	学校教育課長	柴田洋輔	放課後子ども教育課長	青木克行
審査記録	次のとおり			

## 午前9時30分 開会

○中西委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は8名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

本日は、各課からの報告事項、所管事務調査を行います。

後ほどお諮りいたしますが、午後は介護老人保健施設備前さつき苑及び備前斎場への視察を予定しておりますので、円滑な議事運営に御協力くださいますようお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

### \*\*\*\*\* 報告事項 \*\*\*\*\*

レジュメに沿って各課より順次御報告を願います。

なお、報告事項ごとに質疑を行い、質疑が終了した案件の説明員の方におかれましてはその都度御退室いただいて結構でございます。

なお、レジュメに記載のない報告事項がございましたら順次挙手の上、御報告をお願いいたします。

それでは、報告事項を順次お願いいたします。

○江見市民課長 それでは、市民課から戸籍への振り仮名の記載についてということで報告をさせていただきます。

報道等で御存じの方もおられると思いますけれども、このたび法改正によりまして現在の戸籍等に振り仮名が記載されることとなります。施行につきましては本年、令和7年5月26日で、それ以降に仮の振り仮名の通知を行い、その内容に誤りがある場合は届出をしていただきまして、それが正しいということであればそのまま何もしていただくかなくても構いませんというような内容で進めてまいります。その後、その振り仮名を戸籍に記載をいたしまして、来年、令和8年5月26日、これ1年ということになりますけど、1年後に全ての戸籍に正式に振り仮名が記載されるというふうな流れで進んでおります。

それでは、備前市のスケジュールといたしましては8月をめどに備前市に戸籍をお持ちで国内に現住所のある方にこの仮の振り仮名の通知を行いたいと思っております。その後、変更等の申出がない場合は、ほとんどの方というのはもうこのケースであると考えておりますけれども、そのままこの仮の振り仮名が正式な振り仮名として戸籍等に記載されていくというものでございます。

最後に、数でございますけども、3月時点で私どもが確認している件数といたしましては約2万5,000件で、実際の数もその程度になると思いますけれども、その数を見込んでおります。

市民課からの報告は以上でございます。

○中西委員長 報告が終わりましたが、質疑のほうはございますでしょうか。

この資料はよろしいですか。

○江見市民課長 資料のほうは法務省のほうが出しているものになりますので、それに沿って進んでいるということでございます。

○奥道委員 ありがとうございます。これに限らずなんですけども、そういう制度が変わるときって手数料、ここにも詐欺のこと書いてますけど、手数料というふうなことを言う人が高齢者を目かけてというようなことがあると思うんで、くれぐれも詐欺に御注意くださいのところを市のほうから通知する際はこれをはっきりと手数料はかかりませんという、何かあったら御相談ください的なものを大きく書いていただくほうが防げるんじゃないかなという気がしますんで、よろしくをお願いします。

○江見市民課長 通知に際しましては、一応今のところははがきというもので送ろうかなというふうには考えておりますので、文字数は限られますけれども、そのあたりはきっちり書いていきたいと思っております。

○中西委員長 ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、次に移りたいと思います。

○岡村環境課長 それでは、環境課から乾電池、リチウムイオン電池等の処理について御報告させていただきます。

本市では、アルカリ電池、マンガン電池等は資源回収にて実施のほうをしております。また、ボタン電池、コイン電池、リサイクルマークのある小型充電電池は本庁及び各総合支所の窓口にて令和4年から回収のほうを行っているところでございます。

回収量につきましては、令和5年度が電池等ということで10.6トン、ドラム缶に入れて排出のほうをしております。33ドラムの排出のほうを行っておるところでございます。令和6年度につきましては9.3トン、数量にして32ドラムを処理のほうを行っておるところでございます。

以上で環境課からの報告を終わらせていただきます。

○奥道委員 今のは要するにリチウム電池のことじゃなくって別の電池ですよ。マンガンだったり、そのトン数を教えていただいたということでもいいんですね。

○岡村環境課長 はい。

○奥道委員 リチウム電池については何かないんですか、説明というか。何かありましたら教えてください。

○岡村環境課長 リチウムイオン電池のトン数だけは把握のほうできておりません。しかしながら、リチウムイオン電池はドラム缶のほうでマンガン電池等々として排出のほうを行っております。発火等々の可能性がある電池ですので、そのドラム缶の上部、ここに入れて排出のほうをしるといような状況ではございます。

○奥道委員 つまり同じようにリチウム電池も発火しないような状況にしといた上で一緒に出してるといふうに理解していいんですね。

○岡村環境課長 そのとおりでございます。

○守井委員 電池の再生については勉強不足なんですけども、最終的にはこの処分はどういうふうな形になってるのかな。再生が利用できるのかなというような感じも思うんですけど、電池の再生利用、そんなのはないのかな。もう最終処分ということはもう埋めるだけというような格好の処分にしてるんですかね。処理の仕方はどんなんですか、最終処分は。

○岡村環境課長 最終処分ですべてが埋立てに回るとかというお話ですけど、再生できるものは再生をして、それ以外のものは埋立てに行くというようには理解はしておるところでございます。

○立川委員 先ほど、処分のほうは本庁と支所ということでリチウム、ボタン電池ですね。絶縁処理をして、絶縁テープなり、セロハンテープなりを貼って持っていくんでしょうけど、これ分別ごみを立会いしてますと結構出てくるんですね、乾電池の日に。お聞きすると、いろんなところへ持っていかれへんという方が多いんですけど、ほかに例えば公民館であったり、そういったところの回収ボックスの予定はないですか。

○岡村環境課長 こちらの電池なんですけど、火災事故等々も想定されますので、なかなかそういった人がいないところでの回収というのが難しいかなというふうには考えておるところでございます。

○立川委員 我々もお年寄りなんですけど、そのまま持ってこられたり、じゃあどうしとくの、家に置いとくんやと。いやいや、これ絶縁テープ、ビニールテープなり、セロハンテープ貼るときよということはお勧めするんですけど、廃品回収その他で清掃活動をやってみると結構出てくるんですよ、ボタン電池って。乾電池は腐ったようなやつが出てくるのは、それは処理はできるんですけど、そういったところで地域でかなりお困りの方がいらっしゃるんで、そういう回収方法、例えば何かで回るとき一緒に回るとか、そういったこともお考えいただけたらありがたいと思うんですけど、そんな気はありませんか。何か考えられますか。

○岡村環境課長 発火等々の可能性がなければそういった回収というのもできるかとは思いますが、またそのあたりは研究のほうをさせていただけたらと思います。

○立川委員 ぜひお願いをします。皆さん方は処理の仕方というか、回収の仕方も御存じでしょうけど、なかなか浸透してないんですね、一般家庭には。これ発火の危険があるというお話をしてもそんな関係ないわというところでそこら辺置かれる。このほうがかえって危ないというふうには我々は思うんですけど、ぜひ回収の方法、小型混合物みたいに月に1回引き受けるよとか、そういったことをぜひお考えいただきたいと思います。これはお願いをしておきます。答弁できますか。お考えいただけますか。

○岡村環境課長 検討させていただきます。

○立川委員 よろしくお願ひします。

○守井委員 それよりもボタン電池を本庁で回収してるとか、そういう情報自体も知らない人が大分おると思うんで、そういう広報もしっかりしていただいて、それで今おっしゃってるのはその対応ができない人はどうするかというような話じゃないんかと思うんで、そういうのを広報をしっかりやっていただいて、全般的にボタン電池が本庁とかそういう支所へ持っていけば取ってくれるよというところをきちっとしっかり報道していただいたらと思いますんで、よろしくお願ひしたいと思います。

○中西委員長 ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次に移ります。

○行正教育総務課長 それでは、教育総務課から体育館移動式空調機購入事業について御報告させていただきます。

小・中学校の体育館に移動式の空調機を導入する予算を昨年9月の議会で議決をいただいております。その後、国庫補助金のほうの要件が見直されまして、体育館の断熱性の確保について後年度に実施することが可能となる柔軟な整備方針が認められました。これをおきまして、国庫補助を活用することとしましたが、整備に当たりましては空調設備を固定する必要がありますので、その施工方法について現在検討をしているところです。

報告のほうは以上となります。

○中西委員長 質疑のある方の発言を許可いたします。

○守井委員 移動式空調機を固定しなければならないようなことになったということは、それはどういう意味になるのかな。移動式のを固定しなくてはいけないということは、移動式にならないかという感じになるんじゃないけど、どういうことになるんですか。

○行正教育総務課長 国庫補助の要件に例えば避難所として指定されている学校であったり、その中に設備を固定することというような要件がございまして、それに沿って現在その辺の固定する方法を考えているところです。

○守井委員 移動式でありながら、使うときには固定しなければいけないというような感じになるというような意味合いで、固定する場所を何か所か設置しておいて、そこで移動させておいて固定して利用するという考え方になっておるといことですか。

○行正教育総務課長 移動できないもう固定式というふうに考えております。

○守井委員 そしたら、移動式じゃなくて固定式の物を設置する方向で考えておるといことですか。

○行正教育総務課長 おっしゃられるとおりです。

○立川委員 当初おっしゃったように24年9月議決された内容と大分変わってきてますんで、移動か固定かと言われたら固定のほうに動いています。検討しています。結局歯切れが悪かったんで

すけど、何ら進んでないと、移動式の設置についてはという解釈でいいんですかね。検討中ということで設置に向けての前進というのはないよという解釈をしとったらいですか。

○**行正教育総務課長** 現在検討しているところで、学校も含めて検討してまいりたいと思っております。

○**立川委員** であるなら根本的な考え方、変更していったほうがいいように思うんですけど、それも含めての検討なんですか。あくまでも当初予定してたような移動式を固定式にできるような設置という方向で動いてるということですか。選択肢には見直すというのはないですか。

○**行正教育総務課長** 全体的な見直しも含めて検討していきたいと考えております。

○**守井委員** 質問不足だったと思うんですけど、どっちにしても空調機というのはあったほうがいいのは当たり前の話だろうと思うし、だから移動式というのを現在小学校の、中学校の体育館、小学校か、いろいろの体育館設備の中には移動式のもんが設置されてる、簡易なものですけど、設置されているようなこともあるんで、だから移動式というよりも固定式のほうがそりゃ基本的にはいいんじゃないんかと思うんで、よりよいもので補助金が対象になるように実行予算をうまい具合に活用していただいて、早めに設置していただけるように検討していただきたいと思いますが、その点この夏には間に合うんですか。無理ですか。その点はいかがですか。

○**行正教育総務課長** 実際契約に至って、その後発注ということになると思うんですけども、結構納期のほうはかなり時間がかかるというふうにはメーカーのほうから聞いておりますので、今年の夏はかなり厳しいのかなというふうに考えております。

○**守井委員** できるだけ早い時期にということで進めていっていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○**藪内委員** 国庫補助の要件になっておりました断熱の工事を伴うと。これ何かはっきりしてなかったと思うんですけど、その辺の要件的なことは分かりましたか。

○**行正教育総務課長** 断熱といいましてもいろいろ手法があります。例えば窓にフィルムを貼るとか、壁とか、そういったものを二重化するとか、そういったいろんな方法はあるので、これがないと駄目というような要件等はございませんので、今後費用対効果も検討しながら断熱について検討していきたいと思っております。

○**藪内委員** ですから、検討するのをもっと前から検討する言われとって、フィルムを貼るんであれば比較的簡単に済みますけど、それが大がかりな工事が要るんであればそれによって頂ける補助金とその工事に係るものと、それはどっちが有利なのかなとか、そういうことも含めて早くしないといけないし、もう移動式からスタートして今も固定でないと駄目であるという方向へ行って、それやったらもう先ほどその検討も再検討するということも含めてと言われたんで、それでいいんですけど、逆にもう再検討しなきゃいけないんじゃないですかね。どうでしょうか。

○**行正教育総務課長** ありがとうございます。全体的な方針も含めて検討していきたいと思っております。

○**藪内委員** お願いします。

○**青山副委員長** 移動か固定かというふうな問題で、移動式ということになると使い方によって例えば式典であるとか、あるいは体育の授業であるとか、そういうことで邪魔にならないようにといますか、効率のいいような移動をしてということではできると思うんですけど、固定式となると授業等での使い勝手というのは悪くなりますし、場合によっては危険な、安全面でそういうこともあると思うんですけど、どういうふうなイメージで持ってもらえるんですか。フロアに固定するのか、あるいは天井に固定するのか、その辺を聞かせてください。

○**行正教育総務課長** 青山委員がおっしゃられたように、確かにフロアに置くと危険性というのがありますので、その辺に配慮しながら固定式で実施していきたいと今検討しているところです。

○**中西委員長** 青山委員は床に置くのか、それとも天井に置くのか、ほかのところへ置くのかと。床に置いとったら授業なんかで危険だということを指摘されているわけです。その設置の場所について、固定する場所について青山委員は質問しておられると思うんですよ。

○**行正教育総務課長** 例えばなんですけども、2階のキャットウォークという周りの廊下がありますので、その下に配置するとか、もう授業で危険性のないように配慮していきたいというふうに考えております。

○**青山副委員長** ぜひ現場の声、いろんな行事等、授業も含めて使われると思うんで、こういうふうになったからここにするんだじゃなくて、現場でどういうふうな方法がいいかということをしっかり聞いて検討していただきたいと思います。要望です。

○**中西委員長** ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら次に移ります。

修学旅行の日程について。

○**柴田学校教育課長** 令和7年度備前市立学校における修学旅行先について報告いたします。

日程、行き先につきましては、お配りした資料の表のとおりとなっております。

なお、校外学習を含め大阪万博へ行く学校はございません。

以上となります。

○**中西委員長** 報告は終わりましたが、質疑はよろしいですか。

○**藪内委員** 宿泊が全部滋賀になってますよね。今ホテル等の値段が上がってるからそういう影響でしょうかね。

○**柴田学校教育課長** おっしゃるとおりなところもございます。まず、費用面で安いということ、それから京都で泊まるよりは宿泊先が予約が取りやすいということ、それから奈良のほうから移動してくるときに京都市街地を通るよりは滋賀へ向かったほうが渋滞を避けられるといったところ、こういった利点があるということで滋賀泊を選択されるというふうになっております。

以上となります。

○守井委員 これ日程表を見てみましたら、各学校は同日の日に行くような形になってるんですが、これは合同で行くような形になるんでしょうか。その辺はいかがなんでしょうか。

○柴田学校教育課長 小学校において同じ日に行く学校については合同で行くこととなっております。

○守井委員 中学校で同じ日付になつとるところがあるんですけど、これはもう別々行動になるんですか。同じ日にちになつてるようですけど。

○柴田学校教育課長 中学校につきましては、これは合同ではなく別々というふうに向っております。

○守井委員 経路なんかも全然別行動みたいな形になるんですか。例えばこれ見たら沖縄なんか行く日に同じじゃつたらもう飛行機が一緒になると思うんですよ。ほいで、帰りも同じだったら恐らく帰りも岡山空港から出るんでしたら同じ日になって同じ飛行機になるんじゃないかなという感じがするんですけど、その辺がどんなんかなという感じがしますが、いかがですか。

○柴田学校教育課長 申し上げます、そこまでの把握はできておりません。

○守井委員 要は、個別にそれぞれ計画しておるといことですか。それで理解しとってよろしいですか。

○柴田学校教育課長 そのように捉えております。

○立川委員 小学校は合同で行かれたりしているところがあるといこと、中学校のほうお尋ねなんです、行き先については各学校単位で決めるといことになってると思うんですけど、日程、費用、どこら辺に重点を置いて指導されておるんでしょうか。

○柴田学校教育課長 もちろん費用といところもあるとは思いますが、限られた費用の中で狙っていることが実現できる行程をといことと考えていらつしゃると思います。

○立川委員 学校によっては行きたいけど、費用で行けないとか、そんなこともあろうかと思ひますので、その辺いろいろ聞いてあげていただけたらありがたいなと思ひます。

それと、修学旅行はこれ春先、春先というたら失礼ですけど、季節的なものは指導はされておるんですか。例えば夏前に行くよとか、秋に行くよとか、それはもう学校任せ、決定権は全て学校という解釈をしといたらいですか。

○柴田学校教育課長 特に学校教育課のほうからお伝えしてるところはないです。学校のほうで判断しておられます。

○立川委員 分かりました。ありがとうございます。

○土器委員 宿泊は皆さん同じ宿へ泊まるんですか。

○柴田学校教育課長 滋賀の話でよろしいでしょうか。

○土器委員 滋賀の、そうです。

○柴田学校教育課長 申し訳ございません。宿泊先のホテルまではこちらのほうでは把握はして

おりません。

○守井委員 遠方に行くんで事故のないように、それから教員の先生方もなかなか大変だろうと思いますけど、事故のないようにだけよく徹底して指導してあげてくださったらと思いますので、いかがでしょうか。

○柴田学校教育課長 ありがとうございます。こちらのほうからもできる指導はしていきたいと思えます。

○中西委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次に移ります。

○則枝教育政策課長 今後の国際バカロレア教育について報告させていただきます。

今後は、市長、新教育長の下、今後の方針について決定してまいりたいと考えております。

以上になります。

○中西委員長 報告がありましたけども、質疑のある方の発言を許可いたします。

○奥道委員 今後のことありがとうございます。課としてこれについてはどうお考えかというのは聞いてもいいですか。

○則枝教育政策課長 今現在も進んでおりますので、子供たちがグローバル社会で活躍するために国際的な視野を広げるといことで多様な文化への理解、探究心、創造性の向上を目指しているということにはもう変わっておりませんので、担当課としましては方向性は変わってはおりません。

○奥道委員 このバカロレア教育ということについては課としてはというところがあると思えますが、せつかくのもの、それだけのすばらしいものだと私たち信じてますけども、何とかこれが実を結ぶような方向をしっかりと頑張っていたいただきたいというのが私の念願ではありますので、よろしく願いいたします。もうお願いしとくだけで結構ですから。

○則枝教育政策課長 ありがとうございます。今後、新体制の下、検討してまいりたいと思えます。

○守井委員 せつかくバカロレア計画を進めてもう認定校を受けようかというような時期に来てると思うんで、せつかく今までやってきた事業ですので、先ほどもお話がありましたけども、成果が上がるようにできるだけ進めていただくように教育委員会のほうからでも進めていっていただきたいというふうに思えますけど、いかがですか。

○則枝教育政策課長 先ほど、奥道委員にもお答えさせていただいたように、申し訳ございません、新体制の下、協議してまいりたいと思えます。委員のそういう御意向というものはこちらのほうで認識しておりますので、ありがとうございます。

○中西委員長 ほかにはございせんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、次に移ります。

次、放課後のほう。

○青木放課後子ども教育課長 それでは、放課後子ども教室について、昨年度の実績について報告させていただきます。

令和6年度の実績ですけれども、東鶴山小学校が1名、三石の小学校が3名の申込みがありまして、学習指導のほうを行っております。

学習の頻度ですけれども、両方とも週1日で実施をしております。

以上でございます。

○守井委員 放課後子ども教室なんですけど、放課後児童クラブとの兼ね合いみたいのがあるかと思うんですけれども、結局放課後児童クラブの関係が子供たちも少なくなっている関係もあるんですけれども、できれば放課後児童クラブを放課後子ども教室のほうに移ってほしいというような政策的な意向があったんじゃないかと思うんですけど、その辺は児童クラブとの兼ね合いはどんなんでしょうか。時間が違うかもしれないんですけれども。

○青木放課後子ども教育課長 この教室を設置するに当たりましては、学校と放課後児童クラブの方とも話をしておりますので、その辺の兼ね合いも考慮しながら進めておりますので、そういう意向を酌みながら進めていっております。

○守井委員 放課後児童クラブとの兼ね合いがあるかと思うんで、どちらもうまい具合にいくような形で進めていただくようお願いしておきたいと思うんですけど、その点はいかがですか。

○青木放課後子ども教育課長 引き続き意見のほうもお伺いしながら、できることはしたいと思えます。

○立川委員 今お話が出たんですけど、放課後子ども教室と放課後児童クラブ、このすみ分けについて保護者のほうから、んというお話をたまに聞くんですけど、すみ分けという部分と、それからさっきおっしゃった連携という部分と非常に分かりにくいんですけど、一言で分かるといえば大変失礼な言い方なんですけど、放課後児童クラブはこういうところですよ、子ども教室はこういうところですよという、そのキャッチみたいなところを保護者にはどういう御説明、それから募集をされておるのか、教えていただけたら思うんですが。

○青木放課後子ども教育課長 なかなか進んでないような現状はあるんですけれども、大きな点でいくともう放課後児童クラブのほうは保護者の就労等により昼間に家にいない小学生を対象に各クラブの運営委員やNPO法人に委託してやっている事業になります。新たにできました放課後子ども教室というのは放課後の学びの支え、学習する習慣をつけて家庭学習の充実につなげる、学力の向上を資するということ所で若干のさび分けはあります。

○立川委員 だから、そのさび分けを保護者の方、御家庭の方、どういうキャッチでつかまえてつかまえていってるのかなど。例えばおっしゃってました今子ども教室だったら学力アップも目指しましょうねというところが一番大きいというふうに今感じたんですけど、じゃあそれを前面

に出す、学力アップのためにこの教室を利用しませんか、それから放課後児童クラブも俗に言う学童と言われるところだと思うんですけど、御家庭で昔でいう鍵っ子、家に面倒見てくださる方が帰られるまでお預かりしますよというところだと思いますので、その辺きっちりこういうふうにやりましょうと。保護者の方もある程度理解ができるんじゃないかと思うんですけど、子供らはどっちに行くっていったら分からへんというて言うてはりますもんね。児童クラブと子ども教室どっち行くのって聞いたら遊びに行くわというて言うてましたけど、そんなところできちっと保護者がもう端的に理解できるような広報をしていただけたらと思うんですけど、その辺はどうでしょうか。こういう場合はこれを使ってください、こういう場合はこれを使ってください、課長のところの分担ですよ。

○青木放課後子ども教育課長 放課後児童クラブにしても最初に学校から帰ってきたときに宿題等して、同じように勉強はしてますので、勉強するところは同じだとは思いますが、教室のほうだったら成功体験などを提供して、確かな学力を育てるというふうな言葉をうたってるんですけども、その辺がほかのいろんなほかにも無料の塾みたいなんがあると思うんで、その辺のほかの事業との関連も考えていかんといけんのかなとは思っております、キャッチフレーズ的なのを考えていきたいと思えます。

○立川委員 今お話を聞きながら思い出してみたいんですけど、学力日本一連続という秋田の成瀬小学校へ行かせてもらったんですけど、校門がないんですね、あそこは。教室から出て皆さんさようなら言うてぱっと出た瞬間に次の扉からただいま言うて入ってますわ。あれ合同型ですよ。6年生が下の子の面倒を見ながら、下の子は上級生にいろんなことを聞きながら、もちろん学力も当然アップしてますよね、全国1番ですから。というところではイメージが今見えたんですけど、そんなイメージかなと私は思ってたんですけど、今のお話を聞くとどうもすみ分けされてそれぞれに至ってるようなところなんで、子供が分かりにくいんで、ああいう形でじゃあまた明日ねって言うて外へ出た瞬間にこちらからただいま、お帰りと上級生が迎えて一緒に勉強したり、それで学力は全国一ですからね、小さい学校ですけど。そういったところのイメージもありますので、極力分かりやすいように子供たちが行くようなお考えを進めていただけたらと思えます。お願いします。部長どうですか。そういった前向きなお話できませんか。

○久保山総合教育部長 実際、放課後児童クラブと教室のほうの違いが本当に分かりにくいというのは事実でありまして、そこら辺も整理しつつ本当に子供たちが伸び伸びと勉強もできてというところを目指していきたいと考えております。

○立川委員 ぜひお願いします。

○守井委員 予備的な話なんですけど、放課後子ども教室のほうの予算に対しての補助金というのは国とか県とかの補助金とか、あるいは交付金とかというものは幾らかはあるんでしょうか。確認なんです。

○青木放課後子ども教育課長 今聞いているのは文科省。

○春森総合教育部次長 こちらのほうは二通り、放課後の関係は2つあるんですが、備前市のほうは県を通しての形になるんですが、文科省事業のほうの補助金のほうを申請しております。教室を開催すればその分の消耗品であったり、そういったものが補助金受けれるようなものというのを申請している段階でして、これはあくまでも開いての話になりますので、今後数が増えていたり、ほかの学校もできたりすれば今満たした金額を全額もらえるかなというふうには認識しております。

○守井委員 児童クラブのほうは厚労省のほうからの、あるいは県からの補助金があるというのは聞いておるんですけども、これはどちらか、どんなかなという意味で確認だけさせていただきました。

先ほどもありましたように、学力向上のほうに力を入れてやるんだということであれば、それはそれなりに意味があることだろうと思うんで、その教室も充実させていただくようにぜひお願いしたいと思いますんで。子供たちもある学年で1人でも2人でもおれば、その学年の学力も向上につながっていくんじゃないかと思うんです。ぜひ頑張ってやっていただきたいなというように思いますんで、よろしくをお願いします。

○中西委員長 ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、次に移ります。

伊部の保育園、旧伊部保育園。

○春森総合教育部次長 こちらの旧伊部保育園の活用なんですが、現在伊部東区会さんのほうから要望を昨年度末、1月とかにいただいたものを受けた形で予算をした形になっております。実際としては活用というよりか、あくまでも教育委員会が持つてるのは調査費、建物の調査であって、その後教育委員会が使うという想定ではございません。現状の予算としては教育総務課のほうにあくまで建物が活用できるかどうかという予算がついているだけでという形です。

○土器委員 地区のほうから貸してほしいという要望を出したときには検討してもらえるんですか。

○春森総合教育部次長 今言われた部分を調査する費用として教育総務課が予算を持っているという形になりますので、実際問題として執行するかどうかの問題点としては最終的な段階としてはもともとが潰すことも前提であったのが、もともとがリンクスさんが2年前まで入っていて、雨漏りでもう使えないという状態になった上で撤退されているのが現実論でありますので、たとえ地区が言われて予算ついてるからといってもあくまでも本当に使えそうなのというなら調査するんですけど、使えないという判断に市のほうがなるのであれば、申し訳ないですけど、使わない選択もあるかなと。もし調査した後の執行というのは伊部東区会さんの要望を受けるのであれば完全に教育委員会でない部局の建物に所管替えする形になるとは思いますが、現状の予算としてはまさにあくまでも調査費を使うか使わないかも踏まえてですが、教育総務課が持っているとい

う理解になります。

○立川委員 調査予算は学校がその後持つてると。するしないの判断はどこでするんですか。

○春森総合教育部次長 今後、一応市のほうもう一度再調査した上でやる形になると思います。最終的には教育長だったり教育委員会が使えるか使えないかの話をして、外部に使ってもらってもいいのであればそちらになります。潰すことも視野に入れてたのは現実ですので、先ほど言いました雨漏りしてたというのも現実ですので、そういったことも踏まえての判断を今後していく形になると思います。

○立川委員 ありがとうございます。では、教育委員会の中でお話をされて、建物が使えるんだろうか、使えないんだろうかというところからの協議がスタート。使えるかなということになれば調査費用はそちらから出るよという判断しといたらいいですね。判断待ちということで、今。

○守井委員 今、教育財産であると思うんです。教育財産は例えば一般利用というのはなかなか難しい、普通行政財産に変わってからでないとは使用はできないんじゃないかという、あるんですが、その点は大事なんですか。行政財産に変更しなくちゃならないんじゃないんですか、もしそういうことであるならば、その点はいかがなんでしょうか。

○春森総合教育部次長 先ほど、リンクスさんが既に使われとった状況を踏まえて教育委員会としての実質の使い方としてはもう既に一旦終わった、旧伊部保育園ですので、保育園じゃなくなった段階で教育委員会としては今使わない形になっております。その後、リンクスさんが使いたいという話があって障害部門が使ってたんですが、もうそれ撤退されたのでという形になりますので、現在の財産としては教育委員会側から別の部署が使うことは全然可能かなと考えております。

○中西委員長 ほかによろしいですか。

○土器委員 電池の関係なんですけど、今2回、9種23分別してますわね。そのときに小さなもんじゃから2つ、電池と、それから何電池というかね、その箱を置いとったらいんじゃないかと。それで、取りに来るときに、取る日にちを決めてもらったら、1か月に一遍でもいいから決めてもらったらその日に出すようにしたらいいんじゃないかなと。

私の言い方が悪い。今日、実は9種23別伊部やったわけですね。へりに電池ともう一つ一緒に置けるようにしとって、1か月一遍に集める日を決めてもらったらそのとき出しますから、そうしたらいいんじゃないですかというて。

○岡村環境課長 ボタン電池やリチウムイオン電池のお話でございますよね。

○土器委員 ボタン電池も普通の電池も一緒に集めたらいいわけですね。別の箱にしときゃいいわけじゃから。

○岡村環境課長 先ほども御説明のほうをさせていただきましたが、ボタン電池、それからリチウムイオン電池、こういったのは一緒に回収をすると発火の可能性が高いということですので、そういった市役所等々の目の届くところで回収のほうはしていきたいというふうには考えており

ます。

○土器委員 ごめんなさい。こんなもの、ボタン電池。まだ大きいんですか。

○岡村環境課長 大きさですけど、小さいものから大きいものもございまして、どちらにしても発火する可能性が高いという部分でそういった回収方法を引き続きやっていきたいというふうには考えております。

○土器委員 ほんなら、回収したらすぐ集めないけんということですか。逆に言うたら発火する可能性があるということは。持ってきてもろたらすぐ市が回収せんと。

○岡村環境課長 まず、出していただく際には必ず絶縁というのをやってもらわないといけないというのもございまして、そういったのを私どものほうで、例えば環境課の窓口でも回収しておりますけど、そういった部分をしっかり確認した上で専用の容器のほうに入れて回収をしようという状況でございます。

○青山副委員長 先ほどの旧伊部保育園の活用についてなんですけど、これ今はどこが窓口になるんですか。使いたいんだけど、どうしたらいいのかというふうなことを聞かれたときにここへお尋ねくださいというふうな窓口はどこにあるんですかね。

○春森総合教育部次長 貸す、貸さないは置いといてですが、現状の例えば草刈りとか何かするのは古い教育財産とかであって貸したものであるというのは教育委員会に返ってきているのが、ほかの建物もそうなんですけど、現状は今教育委員会としての管理になります。ですが、お貸しするといった場合の要望は、それぞれの要望に応じて関係部署、関係の部に対応した形でお貸しする形なると理解しております。現状は今教育委員会になります。

○青山副委員長 それでは、取りあえずは教育委員会のほうにお尋ねして、それでそこでその件についてはこの部署にというふうな話になるんですか。

○春森総合教育部次長 それ以外にも含めてですが、使える使えないの判断はまたこちらでする部分はあるとは思いますが、一旦教育委員会が所管している、管理しているもの、今使っていないけど、管理している古い建物とかも教育委員会が持っているものであれば一旦教育委員会にお話があるのかなど。それか、もし担当課のほうに話があって教育委員会に貸してくれないかという話があるか、どちらかになると思います。

○青山副委員長 市民の方というのはなかなかその辺が分からないんで、旧保育園だったんで、教育委員会じゃないんかというふうなことでお尋ねがあったり、行かれると思うんですけど、その際にそれだったらここへ行ってくださいとかというふうなことの案内はお願いできるんですかね。

○春森総合教育部次長 内容によりますので、確定で物は言えませんが、そのお話しされた内容に応じて対応できる部署があればそことの一緒の話になってたりするとは思いますが、たださっき言いましたように教育委員会が保育園とかこども園とかで使ったり学校で使ったりしないのであれば、最終的なおのおの判断というのは担当課のほうが使うか使わないか、貸すか貸さ

ないかという部分が出てくると思いますので、そういったものも踏まえての判断になると理解しております。

○青山副委員長 最終的な判断はそこで担当課でっていうのはいいんですけど、市民の方はこれどこにお尋ねしたらいいのかというふうなことも我々も聞かれることがあると思うんで、その辺で教育委員会ということでお願いをしたいと思います。

○中西委員長 ほかにはございませんか。聞き漏れとかよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら審議中途ですが、暫時休憩いたします。

午前10時21分 休憩

午前10時30分 再開

○中西委員長 再開いたします。

\*\*\*\*\* 所管事務調査 \*\*\*\*\*

次に、調査研究事項に移ります。

環境衛生についての調査研究を行います。

備前市におけるマイクロプラスチック削減の取組についてであります。今回はこのテーマを提案して下さった土器委員から発言をしていただきたいと思います。

○土器委員 マイクロプラスチックの削減ということで、実際には海に流れて、だから河原でまず拾うたらいいんじゃないかなと思うんですけど、これは今備前市でいうたら環境衛生指導委員会になるかと思うんですけど、ごみの関係があるから。例えば議会というよりは委員会になるけど、委員会と一緒にこういう形のことを取組ができんかということですね。それから市民とですけどね、現実には。以前はあったんじゃないけど、委員会からいろいろなところへ行ってからやってたんじゃないけど、いつか知らんけど、議会と一緒にするのは行政なくなってきた、多分合併してからじゃと思うんですけど。

例えば、私青少年健全育成、昔の話なんじゃないけど、平成14年かな、委員長の代わりにそこへ出席させてもろて、例えば大会のときには上の段に上がってか何か表彰させてもらう立場になっとったんですね。私自体も一緒にやりよったわけですね。じゃから、これからもそういう形を一緒にせにゃおえんのじゃねえんかなと思うんですけど。

一番分かりやすいのが手話言語条例ですね。中西委員長と職員の方と相談して1年半かかってできたんじゃないけど、一緒にやってくれたと思うんですね。じゃから、それをこのマイクロプラスチックには取り入れて、削減に取り入れて委員会と、それから市、行政、それから市民と一緒に取り組むようなシステムができんかということですね。

○中西委員長 という土器委員の問題提起なんですけど、それを受けて環境課のほうから報告をお願いしたいと思います。

○岡村環境課長 このマイクロプラスチック、それから海ごみ、この回収ということで、委員さ

んもう御存じだとは思いますが、瀬戸内オーシャンズX等々でそういった活動をやっているという状況ではございます。

そういった海ごみ回収につきましても議員の皆さん参加をしてくださって、私ども環境課もそこに行って、それから当然市民の方、こういった方も参加をいただいてそういった海ごみの回収を今の現状やっているという状況ではございます。

また、今委員がおっしゃられたとおりマイクロプラスチック、海に流れて出ていった頃には例えばペットボトル等々が劣化して5ミリ以下のマイクロプラスチックに変わって行って、なかなかそういった小さくなったマイクロプラスチックはもう回収できないというようなこともございますので、海に出る前に例えば河川等々の清掃等で取るというのは重要なことかなというのは感じておるところではございます。

また、備前市環境衛生指導委員会、大きな団体がございます。こういったところも共同で何かこういった活動ができるようなことがあればというところで今後検討のほうはしていきたいと考えておるところでございます。

**○土器委員** 同じことを言うけど、この委員会と環境と一緒に取り組んでやるということ、そういう形がでさんのじゃろうかなと思う。委員会を立ち上げてでさんのじゃろうかなと思う。

**○岡村環境課長** 委員会を立ち上げてというお話ですよ。そのあたり研究のほうをさせていただけたらと思います。

**○土器委員** もう一つは環境指導委員会がありますよね。その中へ入らせてもらってもいいんじゃないかなと思うんですね。ゆっくり話合いしてで構いませんから、すぐ返事できるのであればね。

この委員会もこの前視察してきたんです。茅ヶ崎じゃったな。あそこへ行ってきてみて、あそこは広域でしとったですわね。だから、これから取り組んでいかにやおえんのじゃねえかと思えますんで。

ほかの方も意見があれば。広域で行ってこられたんじゃから。

**○立川委員** おっしゃるとおり本当にマイプラの処理、海ごみ、必要だと思います。土器さんも一緒に行かれたらいいと思うんですけど、今お話がありましたようにオーシャンズXであったり、先般はセブン財団がされたりというところで参加してみると今日は市議員の方来られてますというようなこともございますし、今度夏には学生さん、合宿してる学生さんも来られたり、そういったところでの交流は部分的にはできてますので、そういったところで参加して一緒にやってみようという部分があるほうが近道かなと思ったりしますね。ぜひ参加いただけたらありがたいです。

**○土器委員** 参加します。

**○立川委員** あれはなかなか費用がかかって、おっしゃるとおり委員会立ち上げてもいいんですけど、船をチャーターしたりとか、それからトイレも連れていかないかん、パッカーも連れてい

かないかん、それからもし事故があつたらいかんので、そういった人もということで結構お金がかかるんで、さっき言いましたオーシャンズXも理事がついてますし、セブン財団でしたらセブンが出してくれたり、そんなんに便乗して今のところ行かれたら。結構行ってくださいますんで、何人も、今日はこの方たちも来てくれてますというて、おおというてね。結構楽しいですよ、つらいですけど。ぜひそういうところから盛り上げていけたらいいのかと思います。お願いします。

**○青山副委員長** マイクロプラスチックに関連してということなんですけど、先ほども海に流れ込む前に川で回収とかというふうなんあったんですけど、もっと先を言えば道路や河川へのポイ捨て、そういったようなものを防ぐというふうな取組、あるいは子供たちへの環境の学習、そういったようなことも含めて何か取り組んでいただけたらなと思うんです。

家庭ごみとか企業ごみの分別とか回収についてはよくやってくださってるなというふうに思っておりますけど、山間部のそういう地区についてはまだまだポイ捨てごみ、それから産業ごみというんですか、そういったのも捨てられたりしてるんで、そこら辺力入れていただけたらなと思います。いかがでしょうか。

**○岡村環境課長** このポイ捨てごみ、不法投棄等々と言ったらいいですかね。例えばですけど、アダプト事業等々でそういった道路だとか、河川だとか、そういった清掃活動もやっていただいとる現状というのはございます。しかしながら、もう少し啓発をして、また別の形でいろんなそういった回収等々ができるようなことがあれば検討していきたいと考えておるところでございます。

**○青山副委員長** なかなかある地域だけでやるというのは難しいと思うんです。といいますのが、あんまり地域の人は地域にごみは捨てないんですけど、通りすがりが捨てていくということで、私も2号線の国道ボランティアとか、それから地域のクリーンキャンペーンとかやってごみ拾いなんかもやるんですけど、通りすがりのところがそういったようなことをする、これなかなかそこまで広げて市がやるというのは難しいかもしれないんですけど、子供たちが大きくなってそういうふうな捨てる側にならないような、そういう意識の学習も何か取り組んでいただけたらなというように思うんですけど、その辺は何か、これは教育委員会の問題かもしれないんですけど、環境課のほうからこれについてもというふうなアプローチをされたりしますかね。

**○岡村環境課長** 子供に対してということですか。

**○青山副委員長** 教育に対して、そういう環境教育に対して。

**○岡村環境課長** 環境課としてというお話しになるかどうかというところなんですけど、例えば海ごみ等々も含めてなんですけど、海ラボさんのほうでそういった海ごみを勉強したりするような学習をされとるというのは認識してますんで、例えばそういったところに参加いただいてやるのも一つあるのかなと。また、環境課のほうでもできることがあればそういったことはこれから進めていきたいと考えておるところでございます。

○青山副委員長 ぜひ教育委員会とも連携していただいたり、海ラボなんかともしっかり連携してそういうところの取組もお願いしたいと思います。要望です。

○中西委員長 ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ネット上の情報なんかで見てもマイクロプラスチックはもう我々の体内の血液の中に何グラムかもう既に入ってるというような話も聞きますし、将来これが増えてきたり、あるいは健康被害の問題となってくるとすれば大きな問題になってきますので、また引き続き大切に取り組んでいけたらというふうに思います。

じゃあ、次に移ってもよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

次に、本日備前斎場を視察するよう担当課と調整をしております。たまたま今日は葬儀はございませんので、斎場を視察することが可能なようであります。

そこで、お諮りいたします。

前述の箇所へ委員を派遣することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、委員会閉会后、議長に対し委員会派遣要求書を提出いたします。

以上で環境衛生についての調査研究を終了いたします。

次に、病院事業についての調査研究を行います。

本日、介護老人保健施設備前さつき苑を視察するよう担当課と調整をしております。

お諮りいたします。

前述の箇所へ委員を派遣することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、委員会閉会后、議長に対し委員会派遣要求書を提出いたします。

以上で病院事業についての調査研究を終了いたします。

次に、教育行政についての調査研究を行います。

A L Tの職場での対応について、御報告をお願いしたいと思います。

○則枝教育政策課長 A L Tの職場での対応についてでございますが、学校、園での児童・生徒との接し方の状況について報告させていただきます。

こども園では日常の生活の中で外遊びやクラス別の活動に参加して子供たちと触れ合っています。また、歌や絵本などを使って子供たちと触れ合い、電子黒板をうまく使ったり、子供たちともなじんでいます。保育教諭からの評判もいいようです。

小・中学校では、英語の授業に全A L Tが集まり生徒とグループで話し合ったりしています。先生方がいろいろ考えてくださり、授業でA L Tが活躍できる場を設けてくださっていますが、国語、算数、理科、社会というような科目ではA L Tが授業に入っていくのは難しいというのが

今の現状です。

その他、話を聞いていますのは朝の挨拶運動であるとか休憩時間、掃除の時間では生徒とコミュニケーションを図っているということをこちらで確認しております。

学校でもやり方というものは違うと思いますので、いいところを情報共有しながらいい子供たちへの接し方というところをつくっていきたいと考えております。

あと、ALTの職場での処遇ということにつきまして、こちらは一般の会計年度職員と同様の処遇となっておりますので、7.5時間の勤務で45分の休憩をとというような処遇になっております。

**○土器委員** 挨拶運動って言われたんじゃないけど、どこで挨拶、校門の前ですか、学校の中ですか、挨拶運動。

**○則枝教育政策課長** 申し訳ございません。挨拶運動というふうに答えさせていただきましたが、学校によって朝早い時間にALTが行って先生方と同じように生徒を迎えておはようっていうのを英語でと、あとその学校によって帰りのときにさようならっていうことをやるっていうことをやっているというところもあります。全てが統一しているというわけではございません。

**○土器委員** それ、英語で言うてるんですか。

**○則枝教育政策課長** ALTは英語でやっております。

**○立川委員** 御報告いただきましてありがとうございます。学校内でのことは今課長が言われたとおりで、何とか当初予定ぐらいには進んでるのかなという印象を受けております。

生活面でのサポート、この前も費用の入札動向というのございましたけど、生活面でのサポートはどんなところが今やっておられるんですか。

**○則枝教育政策課長** 生活面でのサポートということで、ALTがどのような状況であるかと、どのような生活をしているというような報告を受けたり確認はしております。ほかの一般的な生活に関しましては、ALTさんとその企業さん、アチーブゴールさんの中で結ばれているという。アチーブゴールとのサポートというものがございます。

**○立川委員** 聞きづらいところを聞きまして。というのは、生活面でおっしゃるとおり周りの見る目っていうのが結構あって、この前も電車に乗ってましたらちょうどお帰りになる時間の電車だったんでしょうね、5時過ぎの。団体さんで乗ってこられて大阪のおばちゃんに近い、あんたここ空いとんでここへ座りというふうな感じの分で皆さん外国人がやっておられたんで、乗ってらっしゃる乗客の方は引きますわね。というようなところがあつたんで、それが気になって。一般社会、社会というよりも我々の生活の中に入ってこられてるわけですから、その辺のサポートがどうなのかなっていう思いでお尋ねしたんですけど。生活面は全くもうアチーブゴールさん、市のほうは全く職員としての自覚というのをお願いしとんでしょうけど、軽くノータッチよという感覚でいいですか。クレームとかは入ってきてません。大丈夫。

**○中西委員長** この話の大前提は、アチーブゴールに備前市が業務委託を1億5,000万円弱

というふうに言っていましたけども、それは随契がされたんですか。された上でということなんですけど、どうですか。

○則枝教育政策課長 契約をしている、手続を踏んでいるところですので。

○立川委員 アチーブさんと本人たちはしとうわけでしょ。

○則枝教育政策課長 今現状としましては、本人と市との任用ということでの契約はしております。あと、生活サポートというところで各種手続であるとか、そういったようなことを今委員長がおっしゃられるようにアチーブゴールさんとの随意契約をして進めております。所定の手続は済んでおりますので、あと実際の契約書を交わすというところまでにはまだ至っていないところでは。

○立川委員 委員長のほうから先に話が出ましたけど、前25日、先月、契約についてのお話、入札延びましたと。その後の流れについて御報告をいただけたらと思います。

○則枝教育政策課長 立川委員がおっしゃられてます25日の審査が延びましたというのが業務支援のサポートでございます。ですので、学校と市とのやり取りに対して、申し訳ございません、訂正させていただきます。学校とALTとのやり取りの中で行うものを市、その代わりにやっただくということと、あと研修であるとか様々な資材であるとかの提供の業務のほうは今審査延期になっている状態でございます。

○立川委員 大変ごめんなさい、理解しづらいところがあって。アチーブゴールさんと来られてるALTさんはサポート面では契約してるよというのは前回お聞きしました。業務支援と研修支援ひっくるめてのサポートがということのお話だと思うんですけど、申し訳ないですが、チャート図をお願いできませんかね。どういう支援関係があるのか。それから、コルドバ町でしたっけ。

○則枝教育政策課長 はい。

○立川委員 コルドバ町さんとアチーブゴールさんとどういう契約をしてるのか、チャート図で分かりやすいように提供いただけませんか。どうもそこら辺が理解しづらいんで。これ委員長お願いしたいと思うんですか、どうですか。

○中西委員長 その前に、入札は延期になってると。つまり1億1,000万円の業務支援の入札は延期になってる。それからもう一つは、生活支援の1億5,000万円いかない金額ですけども、それは契約は進めてるけども、契約には至っていないと、こういう認識でよろしいですか。

○立川委員 分からへんからお願いしましよ、チャート図で。

○則枝教育政策課長 そうですね。

○中西委員長 その上で、これがどうなってるんかというのは僕たちも分かりませんので、その上でコルドバと、それからフィリピン政府と、フィリピン政府がかんではずなんです、この75人の派遣については。同時にフィリピン政府が派遣する派遣会社というのはこの会社が入って

ると。備前市がいると。その相対的の関係図みたいなんは一回出しただけたらというのがお話だと思うんですけども、それはぜひ一回出していただけたらと。

それぞれ仕組みがあると思うんですよ。フィリピン政府も人材を派遣するに当たっては政府のこうした機関があつてこっから行くんだとかというのがあつたと思うんですけど。また、今日にはなかなか出ないかも分かりませんが、一度もう一回整理をしていただく意味で出していただけたらと思います。

**○立川委員** まさにそのとおりで、今お願いしましたとおりどこがどうなつてどういう契約になつてどうなつてるのか、お金の流れはどうなのか、そういった流れはどこでどうなるのか、備前市はどこへ出てくるのかつていうのを本当チャート図とそれにまつわる金額を入れたものを次回委員会に、余裕がありますでしょ。ということでお願いをして、次回に回したらどうでしょうか。

**○久保山総合教育部長** 分かりました。次回委員会で。

**○立川委員** 分かるように。

**○久保山総合教育部長** 分かるような資料を提出させていただきます。

**○藪内委員** 今お願いしたことでいいんですけど、実際もう本当いろんな情報が飛び交つていて訳が分からないと。なのに、現実問題5月1日からスタートしてALTの人たちが来てる。何となく子供たちも含め、先生も含めみんなグッドモーニングとかやってますけど、これどういうお立場でどういう例えば、それを今から資料を頂けるんでしょうけれど、もう全く分からないと。何となく地元の行事にもう既に参加して一緒にお酒を飲んでいるような地区もあるとか、いろんなことがもうとにかく飛び交っている。みんなは何となく聞いているような、何も分からないような、ただ何人か、五、六人固まって歩いているとか、自転車乗つてるとか、本当異様な光景なんですよ。それいいように取ればそれが国際交流で英語の何かになるのかなとか思うけど、ただそれをグッドモーニングとかみんなで言つて喜んでくれるけれど、実際は職員となり給与とか、報酬が発生するわけじゃないですか。ただ遊びであればそれでいいんだけど、そういう1人当たり三百何十万円とか、全体でいうと6億5,000万円ぐらいのお金が発生してくる事業の中で、にこにこグッドモーニングでいいのかなと。とにかく何のことが全く分からない。資料を出していただく前に何か簡単に説明できることがあればお願いします。

**○則枝教育政策課長** すいません、今4月から来てますALTにつきましては、私たち職員と同じ立場で備前市に住民登録もしている市民となっております。ですので、通常の生活としましては、何らそういうもう新しい町内会の人が増えたと認識していただければとは思いますが。生活面につきましても、そのような研修は積んできたはずなんですけれども、先ほど委員からおっしゃられたように電車の中での対応とかというところはすいません、見えてなかったところであります。

学校につきましては、5月1日から授業を行うという、学校現場に行くということで1か月間

市のこちらの職員、国際教育課の職員が講師となりまして研修を行いました。学校現場に出ていくということで5月1日から徐々に赴任していただいております。ですので、実際の流れとしましてはそのようにもう通常の職員が4月1日に備前市に来て、5月1日から研修を積んだ後職場に就いたという状況になっております。

先ほどのその中でどうしても海外から来られた職員ですので、備前市がお願いして来ていただいております。ですので、そのサポートというところが必要になりまして、委託っていう業務が発生しております。備前市がやることを全てできませんので、お願いするということで生活面でのサポートということと、あとは業務、授業、学校でのどういうふうな、欠勤であるとか、業務の報告であるとか、先生とのやり取りとかというところを業者をお願いするということ、今委託というところを進めているところです。さび分けとしましてはそういうところでございます。

**○藪内委員** もうですから既に何となくだらだらともう入ってしまってスタートしているわけですが、いろんな決まり事、契約であるとか、そういうのは全て本当クリアできているんでしょうかね。

**○則枝教育政策課長** なので、契約できていない部分につきましては市の職員が今現在やっております。その流れをとるところでしたので、そこをきれいに整理しての今度の資料提出ということで考えております。

**○藪内委員** とにかくトラブルのないようによろしくをお願いします。もう既に生活に入り込んでるんで、もう。入り込んでますんで、その辺はクリアにさせていただいてよろしくお願いたします。

**○守井委員** せっかくのALT事業で以前は各学校当たり1人ずつというようなところで始まったわけですから、それが各学年にと増やしておるということで今年度からやってるわけなんで、うまく活用して目的あるいは意義が十分達せられるように周知を徹底してやっていただきたい。そして、先ほどもありましたようにトラブルのないようによく生活面も含めて指導していただけたらなというふうに思いますので、まずはALT事業を意味のあるものにしていただくということをお願いしたいなというふうに思いますので、よろしくお願いたしたいと思います。何か御意見ありましたらお願いします。

**○則枝教育政策課長** 委員ありがとうございます。もうその方向性等十分気をつけてやってまいりたいと思います。

**○中西委員長** ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、教育行政についての調査研究を終了いたします。

以上で厚生文教委員会を終了いたします。

午前11時06分 閉会